

大阪維新の会大阪府議会議員団の府政報告

新型コロナウイルス感染症対策に万全を期し

人口減少社会に打ち勝つ副首都・大阪!

令和2年 2月定例会 維新府議団代表質問 森 和臣幹事長



森 和臣幹事長

1 新型コロナウイルス感染症の現状認識

Q 感染症対策は、少しの判断の遅れが後々大きく影響を及ぼしてしまう。この感染症を取り巻く現状認識について伺う。

A 全世界で感染が拡大する中、市中での感染拡大に備える必要がある。今後、感染機会を減らしたり、感染者を早期に確認するための検査体制の充実など、患者の急激な増加をできる限り抑制することに軸足を置いた対応を進めていく。

2 全国豊かな海づくり大会を大阪へ

Q プラスチックごみ対策について、来年度以降どのように進めていくのか伺う。また、SDGsの推進や大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの取組を発信すべく、全国豊かな海づくり大会を、万博開催の2025年またはそれ以前に大阪府で開催していただきたいがどうか。

A 新たに、回収した未使用エコバッグの配布、マイボトル用給水機の普及、代替プラスチック等先進技術のシーズ調査等に取り組む。また、来年度計画に、府民や事業者などの具体的な行動指針や数値目標を定める。全国豊かな海づくり大会については費用や関係市町村との調整等はあるができるだけ前向きに検討していきたい。

3 交番の機能強化

Q 昨年の吹田警察署交番襲撃の様な事件を繰り返さないためにも、交番機能及び警察官の更なる安全強化が重要と考えるが如何に。

A 拳銃が奪われにくい新型拳銃入れを今年度中に必要数充足する予定。内部防犯カメラは、府内600か所の交番には今年度中に整備予定で、駐在所は全て整備済。外部防犯カメラは6割を超す交番に整備済。さらに、防犯資機材の整備、実践的訓練、複数の勤務員など、交番のセキュリティ強化を進める。

4 府立学校のICT化

Q 今後、府立高校での教育へのPCの活用をどう進めていくのか伺う。

A 2022年4月を目標に、府立学校においても1人1台のPC環境の整備を進めたい。併せて、来年度から無線LAN等の整備も同時に行う。実証実験を実施し、英語力の向上や外国籍の子どもたちへの支援等、ICTを活用した実践に取り組む。

5 医療的ケア児の通学支援

Q 令和2年度には、医療的ケアが必要な大阪府内全ての子どもたちを対象に通学支援することだが、今年度実施したモデル事業をどう検証して本格実施を行うのか、介護職員の活用も含めて見解を伺う。

A 今年度のモデル事業の結果をふまえ、車内における医療的ケアの実施は看護師の同乗を基本とし、関係機関の協力を得ながらその確保に努める。介護職員の活用は、保護者の意向をふまえて対応する。令和2年度から、希望する対象児童生徒全てに対し、通学支援を本格実施する。

6 福祉医療費助成制度の拡充

Q 平成30年4月に福祉医療費助成制度が再構築された際、精神病床への入院は助成対象外とされた。経過措置期間が終了する令和3年3月末に向け、どう対処するか伺う。

A 精神病床の入院への助成については、今回は対象者の自己負担を上げることなく拡充が可能であるとの見通しがたった。市町村の合意も得られたため、令和3年4月から精神病床への入院に対する助成を実施できるように、必要な準備を進める。



答弁する吉村洋文知事

維新主導で 議員報酬 30%削減の継続実施を決定 (3月6日)

3月末で期限切れとなる府議報酬の30%削減について、令和5年4月29日(今任期中)まで延長する条例改正案が可決し、さらに継続実施することが決まりました。

新型コロナウイルス府民向け相談窓口 TEL 06-6944-8197 FAX 06-6944-7579 相談受付時間 AM 9:00 ~ PM6:00 (土曜・日曜・祝日も対応)

世界レベルの安全基盤づくり! 令和2年度予算の重点項目に感染症対策

新型コロナウイルスのような未知の感染症に対する対応力を組織として強化し、都市としての強さを実現。



吉村知事

感染症対策についても世界レベルのものを備えるべきである。ますます進む大阪の国際化、その道は好むと好まざるとに関わらず行くべき道。人口減少、高齢化の中で海外との結びつきは増えていく。海外からの投資、海外の方が大阪での活躍を求めてやってくる。そうすると感染症対策も、一段とレベルの高いものを備える必要があり、安全基盤を充実させたい。

いのちを守り、成長を支える危機対応力の強化

万博及び未来に向けた感染症対策の強化

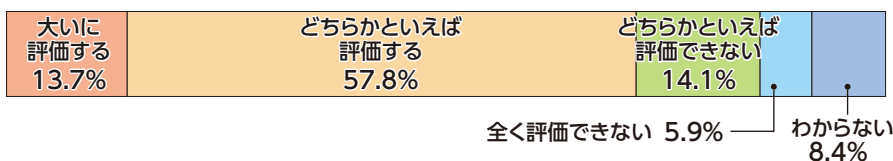
- 2025年大阪・関西万博開催に向け大阪府健康安全基盤研究所に感染症対応力強化のため疫学調査チーム設置
- 中小企業向け新型コロナウイルス感染症対応緊急資金▶(貸付枠)500億円
- 企業への感染症対策の研修や外国人旅行者への情報発信▶4000万円
- 関空を管轄する泉佐野保健所への防護服等の配備▶2800万円
- 地域医療機関への研修の実施や連携体制の構築▶900万円

新型コロナウイルスに関する府民の意識調査

令和2年2月25日~26日 インターネット調査 サンプル数:1550人

大阪府のこれまでの取り組みを「評価する」が71.5%

Q. これまでの大阪府の取り組みに対して評価しますか。

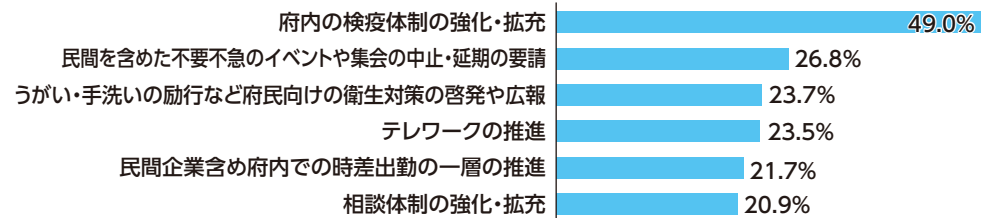


大阪府が調査時点で進めていた取り組み

- 一般府民に向けた電話相談窓口を設置している
- 府民が参加する府主催のイベントを原則中止とした
- 通勤時の混雑緩和のため職員の時差出勤を推進した
- 国や保健所等関係機関と密に連携しながら迅速で正確な情報提供に努めている
- 経営に影響を受けている中小企業への融資制度を創設した

Q. 今後、大阪府はどのような取り組みを行うべきだと思いますか。

(次の中から2つ選んでください。)



Q. 感染予防に関して、日頃あなたはどのようなことを心がけていますか。

- 手洗いを励行 ... 85.1%
- うがいを励行 ... 60.8%
- マスクは必ず着用 ... 55.9%
- 手指消毒 ... 38.8%
- 咳エチケット ... 36.3%
- 外出を控えている ... 31.0%
- 定期的に水分補給 ... 31.9%
- 規則正しい生活と栄養や睡眠等に注意 ... 31.4%